

小中学生にも人気の高いサツマイモ

(一財) いも類振興会 理事長 狩谷 昭男

概ね1938（昭和13）年以前に生まれた人に、サツマイモ嫌いが多いようである。それらの人々の過ごした幼少期は、戦中・戦後の極端な食糧難の時代であった。毎日、サツマイモを主体にした質素な食事で飢えを凌いだ苦しい体験が、サツマイモ嫌いにも繋がっていったのであろう。

このようにして生じたサツマイモに対する“負”のイメージは、食糧危機をようやく脱した1950（昭和25）年以降も連綿と続いた。だが、2003（平成15）年に至り、電気自動式石焼きいも機が開発されてスーパーマーケットなどに普及し、翌2004（平成16）年には銀座三越で焼きいも店が開設された。これらの事象を境に、サツマイモに対する“負”のイメージが徐々に払拭されてきている。加えて、国民の“健康志向”が次第に高まるという時代の追い風もあり、現在、サツマイモは老若男女から優れた健康食品の一つとして支持されるまでになった。

このことを示す一つの事例を紹介しよう。日本経済新聞に「こどもランキング」という小欄がある。2013年9月21日朝刊では、小中学生の好きな「秋の食べ物」として、サツマイモが4位となり、高い評価を得ていると報じている（表参照）。

同新聞では、『小中学生に好きな秋の食べ物を聞いたところ、身近な果物が上位に

並び、子どもたちの果物好きが浮きぼりになった。（中略）このほかサツマイモが好きで、ほっかほかの焼き芋を楽しみにしている人も多かった。』と解説している。

サツマイモが小中学生にも人気の高い主な理由は、焼きいものように大変“おいしい”からであることはいうまでもない。そのほか、幼稚園・保育園や小学校時代に“いも掘り”体験などを通じて、サツマイモを身近な食べ物として認識されてきた結果によるものではないだろうか。このように、サツマイモの評価をめぐる環境が様変わりしている。ここにも時代の変化を感じざるをえない。

表 小中学生の好きな秋の食べ物

1位	ナシ	105票
2	ブドウ	92
3	リンゴ	75
4	サツマイモ	64
4	サンマ	64
6	クリ	55
7	新米	44
8	サケ	43
9	柿	39
10	カボチャ	34

注：1. 本調査は、日本経済新聞社が日本能率協会総合研究所の協力で実施。
2. 複数回答。小学5年～中学3年の男女200人に2013年9月上旬に聞いた。